

「第4回 鳥海ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」

－ 議事概要 －

- 開催日時 平成25年6月7日（金）14:30～15:10
- 場所 由利本荘市役所 4階 正庁
- 出席者
 - 構成員 秋田県建設部次長（知事代理）、由利本荘市長
 - 検討主体 東北地方整備局副局長

● 討議概要

1. 検証に係る検討の進め方

2. 事業等の点検について

- ・意見無し。

3. パブリックコメントで頂いたご意見に対する検討主体の考え方について

4. 利水参画予定者等から頂いたご意見について

- ・意見無し。

5. 治水、新規利水、流水の正常な機能の維持対策案の評価軸ごとの評価及び総合評価（案）について

6. 総合的な評価（案）について

- ・これまで検討の場において、治水対策・利水対策・流水の正常な機能の維持の各対策案について複数検討されてきた。過去の豪雨災害から住民の安全を守り、子吉川の流れを健全に保つためには、鳥海ダム建設に優るものはないとの意見を述べさせていただいた。また、市民生活と産業活動を支える水道の水源はこの周辺に降った雨だけが頼りの非常に不安定な水源であり、二、三年ごとに渇水の際には貯水量が枯渇するほど激減し、市民生活や産業活動が脅かされる事態となっている。

本日この検討の場で、総合的な評価として鳥海ダム案が最有力であるとの結論が示されたことは大変喜ばしいこと。悲願である鳥海ダム建設に早期に事業着手されることを祈念する。

- ・これまで長年要望してきた鳥海ダム案が、最も有利であるとの方向性が示されたということで、非常に安堵している。

これまで説明いただいた資料の中でも利水参画予定者あるいはその関係団体の意見にもあるように、いずれもダムを切望しているというこ

とがはっきりわかった。2年前の洪水、さらには異常な渇水、異常な天然現象が続いている中で、住民の安全・安心のためにもできるだけ早く方向性を決定してもらいたいというのが希望である。

河川の安定とダムの水資源、これは県勢の発展の一つの大きな戦略になり得ると、知事も明言している。方向性が決まり、できるだけ早期の完成を望むということが大きな願いであり、ご理解していただくようお願いする。

7. 意見聴取等の進め方について

- ・意見無し。

(平成 25 年 6 月 11 日 事務局取りまとめ)